

SONNETEER

Classic Series

Sedley Phonoequalizer

1998年の発売と同時にイギリスで圧倒的な支持を集めた Sedley(セドレイ)は、1998年の Hifi World誌 (英) の World Winner賞を初めとして、What Hifi誌 (英) の5つ星、最近では2005年のオーディオ銘記賞を受賞するなど世界各国で多くの賞を獲得して参りました。これほど、長くこのフォノイコライザが世界中で愛されてきたのは、”長い研究・開発時間をかけて、本当によいものを作る。そして、長くそれを製造し続ける” ソネットィアの一つの製品に対する真摯さと優れた音質が世界中から支持を集めてきた証拠です。

最近では、多くのフォノイコライザに採用され認知されるようになってきた、入力容量と入力抵抗が音質に大きな影響を与えるという事実をソネットィアはすでに1998年のSedley発売時にはすでに気づいていました。Sedleyは、発売当初から15段階の入力容量と入力抵抗を切り替える機能を持っており、現在でも新素材を多用した新しいカートリッジの性能を十分に引き出す性能をもってあります。

Sedleyには、特別な技術は使われておりません。むしろシンプルすぎる回路で構成されています。しかし、それはSedleyがありきたりなフォノイコライザであることを意味していません。ソネットィアの主催者であるハイダー・バーラニ氏とレモ・キャサディー氏は、ソネットィアの設立となる1994年以前からSedleyの母体となるフォノイコライザの研究・実験を繰り返してきました。この長い開発期間こそSedleyを次々に生み出されてくる他のフォノイコライザとを峻別するものです。

長く愛されるために開発されたフォノイコライザ、”ソネットィアらしい”という言葉がよく似合うフォノイコライザそれが、Sedleyです。

Specification

入力・出力	各1系統(RCA)
入力抵抗	1K,47,100,220 Ωとその並列
入力容量	10,47,100,220 pFとその並列
入力感度	MC 0.5mv MM 5mV
WHD	434 x 64 x 280 mm
重量	約6Kg
Price	Open Price



Sedley USB Digital Recordable Phonoequalizer

2006年に他社に先駆けてソネットィアはアナログレコードのデジタル化によるアーカイブを提案しました。それが、セドレイUSBです。定評あるセドレイの音質をそのままにPCにより簡単に録音が可能となりました。デジタル回路はPCからの給電で動作するためPCと接続しなければ完全にノーマルのSedley同様に動作します。*セドレイをお使いのお客様はアップグレードすることが可能です。

Specification

入力・出力	各1系統(RCA) USB-B端子
入力抵抗	1K,47,100,220 Ωとその並列
入力容量	10,47,100,220 pFとその並列
入力感度	MC 0.5mv MM 5mV
WHD	434 x 64 x 280 mm
重量	約6Kg
対応PC	Windows 98SE以降 Mac OSX 以降
Price	Open Price

Brontë SACD player



ブロンテ SACDは、ソネットティアのクラシックシリーズの最新のSACDプレーヤーで、CD、SACDステレオに対応しております。フィリップドライブを採用しており、出力はアンバランスアナログ出力（RCA）、SPDIFデジタル出力（RCA）のみと極めてシンプルな作りをしておりクラシックシリーズのプリンキプルであるという伝統を堅持しております。

ブロンテCDは、アップサンプリング等を行っておりません。大容量の電源、しっかりとした筐体を採用するなど極めて王道的手法をとることにより高音質を実現しており、その再生音はイギリス *Hi-Fi+* 誌で”Quite Admirably”（極めて堂々としている、まったく立派である）と評されています。

ブロンテ SACDは、クラシックシリーズのオーソドックスな外観にSonneteerのMorpheusシリーズ等の最新のデジタル技術を導入した古くて新しいSACDプレーヤーです。

*（ブロンテ SACDは、2006年に発売されたブロンテ CD Playerの後継機になります。イギリス本国では同じ名前が発売されていますが、機能面でまったく違う機種であるため、混乱を避けるため日本ではブロンテSACDという名の製品名で区別させていただいています。）

Specification

対応DISK	CD SACD Stereo
オーディオ出力	1(RCA)
デジタル出力	1(SPDIF)
リモコン	YES
重量	7Kg
WHD	430 x 70 x 280



Campion Integrated amplifier



1994年にカンピオンはソネットティアブランドのデビュー作として発売されました。それ以来、ほとんどそのままの形で現在まで世界中で販売続けられています。

当時としては極めて堅牢なシャーシ設計をしており、フロントパネルの6本のねじはこのクラシックシリーズに共通のシンボルであります。これは、オーディオセンターのモフィアスやバードオーディオシステム等の現代的な製品が登場するまでは、質実剛健で合理的な設計をあらわすソネットティアブランドのコーポレートアイデンティティーでもありました。

出力は33W/ch 8Ω。大型のシステムを余裕を持って鳴らすには力不足ですが、小型のスピーカーを朗々と鳴らすには十分な出力を確保しています。極めてバイアスを高くとったAB級アンプ回路を採用しており、イギリス的な聞かせどころを心得た美音を奏でます。

入力は5系統、DIR・TP・CD・L1の4系統が用意されており、一般的なご使用には十分な入力を用意してあります。出力もラインアウトを装備しており、テープなどの外部録音メディアにも対応しております。

発売以来、唯一の大きな変更が発売当時オプションであったフォノイコライザーが標準で内蔵となったことです。Sonneteerには、Sedleyという世界的に認められたフォノイコライザーがあり、その音質には定評があります。定評あるこの技術をL2入力にMM対応のフォノイコライザーとして搭載しております。

これほど長く販売し続けられてきたアンプは稀有とって間違いないでしょう。それには理由があります。シンプルで故障の少ない回路、華美にならず飽きの来ないデザイン、何よりも時代の変遷に流されない美しい音、それこそカンピオンが今もここにある理由なのです。



Specification

パワー	33W/ch 8ohm 60W/ch 4ohm
入力	4 @ 10K (RCA) 1 @ Phono (MM)
オーディオ出力	1 RCA
スピーカー出力	1Set
THD+N	0.005% @ 1KHz Full Power
重量	10Kg
WHD	440 x 90 x 320